

審査 設計者

令和 8 年度 実施設計書

工事番号
(設計書コード) 38-N3103-01-11-01

建設工事名 令和8年度地域用水環境整備いなさ湖地区場内整備工1工事

地区箇所名 いなさ湖 建設工事箇所 浜松市浜名区引佐町川名

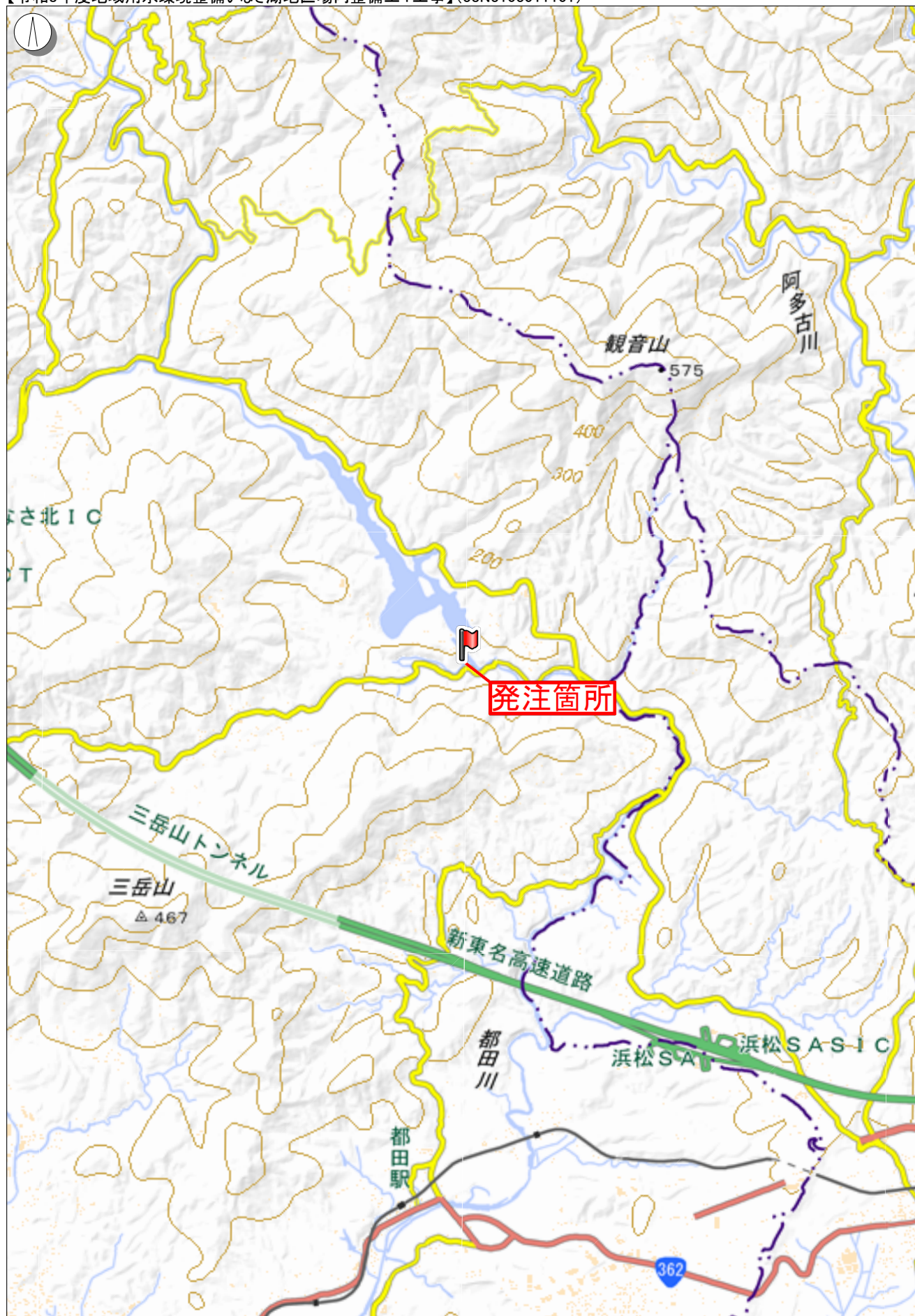
建設工事金額

工 期 令和 9 年 3 月 2 3 日限り

建設工事概要 場内整備工 1 箇所

歩掛・単価適用年度 令和 8 年 1 0 月 基本単価 令和 8 年 1 0 月 地区コード 2 3 2 地区

起 終 点 指 定 ⇔

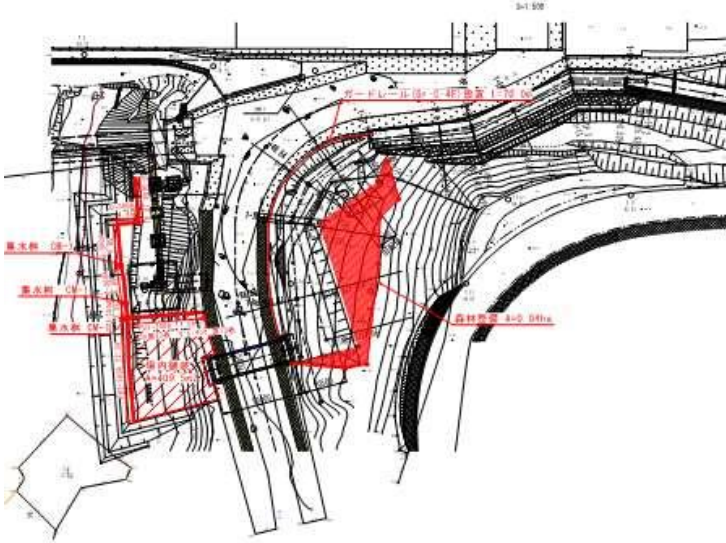


【発注箇所座標】緯度:34度52分29.696秒 経度:137度43分27.009秒, X:-70925m Y:-124540m

1/50000

測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 8JHf 19 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

位置図

			設計書番号	38-N3103-01-11-01
工 事 概 要 表			地 区 名	いなさ湖
工 事 概 要	工 事 名	令和8年度地域用水環境整備いなさ湖地区場内整備工 1 工事		
	工 事 量	場内整備工 1箇所		
	施 工 場 所	浜松市浜名区引佐町川名		
	工 期	完成期限 令和9年3月23日 限り		
標 準 断 面 図				
設 計 諸 元	工 種		数 量	規 格
	場内整備工		側溝据付工 L=77m	U-300A L=37m PU3-300A L=40m
			集水水榭工 N=3箇所	CM-1
			転落防止柵設置工 L=30m	H=1,100
			防草シート設置工 A=150㎡	
			門扉設置工 N=1箇所	W=4,400
			防護柵設置工 L=70m	Gr-C-4E
			場内舗装工 A=1,040㎡	As t=3cm
摘 要	現在、都田川ダム下流部で浜名湖北部用水いなさ湖発電所の建設を進めている。 本工事は、発電所敷地内の場内整備工を行うものである。			

請 負 費 構 成 表

項 目 名	単 位	数 量	金 額	備 考
(1) 工事価格				
(2) ・工事原価				
(3) ・ ・ ・ 直接工事費	式			
(4) ・ ・ ・ 間接工事費				
(5) ・ ・ ・ ・ 共通仮設費				
(6) ・ ・ ・ ・ ・ 共通仮設費（積上分）	式			
(7) ・ ・ ・ ・ ・ 共通仮設費（率分）	%			
(8) ・ ・ ・ ・ 現場管理費	%			
(9) ・ 一般管理費等	%			
(1 0) ・ 枠外追加項目	式			
(1 1) 純工事費				
工種区分名称				道路改良工事
地域特性区分				中山間地域
一般管理費等補正				金銭的保証を必要とする

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 場内整備工					
	箇所	1			
-- 土工					
	式	1			
--- 土工					
	式	1			
---- 床掘り					
	m ³	77			SP 1号表
---- 埋戻し工 振動コンパクタ					T0340
	m ³	56			第 1号表
---- 土砂等運搬					
	m ³	28			SP 3号表
--- 土砂運搬・盛土（仮置き場→現地）					
	式	1			
---- 土砂運搬工 浜名区四大地					T0210
	m ³	1,300			第 3号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 盛土工 ハンドガイド式振動ローラ、締め幅1m以上	m ³	1,000			T0200 第 4号表
-- 場内整備工	式	1			
--- 場内整備工	式	1			
---- 側溝据付工 U-300A	m	37			T0040 第 6号表
---- 側溝据付工 PU3-300A	m	40			T0050 第 7号表
---- 排水構造物 蓋版 据付け PC4-B300	枚	22			第 9号表
---- 排水構造物 蓋版 据付け 鋼製300用 T-25 L=500	枚	13			第 10号表
---- 集水枳工(天端上載荷重なし) CM-1 グレーチング蓋 110°	箇所	3			T0280 第 11号表
---- 転落防止柵設置	m	30			T0290 第 13号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 土間コンクリート設置工 電気室前 W2455×D780×t120	箇所	1			T0070 第 15号表
---- 防草シート設置工 敷砂利5cm	m ²	150			T0320 第 19号表
---- 門扉設置工 柵高1.8m 両開き 幅4.4m 溶融亜鉛めっき ダークブラウン	組	1			T0330 第 22号表
---- ・防護柵設置工(ガードレール設置工) 土中建込 塗装品 Gr-C-4E ダークブラウン	m	70			第 25号表
---- ラフテレーンクレーン オペレータ付き 油圧伸縮ジブ型50t吊	日				賃料
---- ラフテレーンクレーン オペレータ付き 油圧伸縮ジブ型12-13t吊	日				賃料
--- 場内舗装工	式	1			
---- 不陸整正	m ²	1,145			SP 18号表
---- 表層(車道・路肩部)	m ²	1,040			SP 19号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
- - 仮設工					
	式	1			
- - - 仮設道路工					
	式	1			
- - - - 敷鉄板賃料 22*1524*6096 日数=73日					
	枚	42			第 27号表
- - - - 敷鉄板賃料 22*1524*3048 日数=73日					
	枚	4			第 28号表
- - - - 敷鉄板設置・撤去工 撤去					
	m ²	408.8			第 29号表
- - - 安全費					
	式	1			
- - - - 交通誘導警備員B					
	人	4			
直接工事費計					
工種区分 道路改良工事					

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場環境改善費（率分） （計算する）	式	1			
共通仮設費（率） （中山間地域）	式	1			
運搬費	式	1			M0010
共通仮設費計					第 30号表
純工事費計					
現場管理費 （中山間地域）	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 （金銭的保証を必要とする）	式	1			
森林整備費	式	1			M0020
	式	1			第 32号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
枠外追加項目	式	1			
工事価格計					
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

T O 3 4 0		埋戻し工 振動コンパクタ		第 1号表	
金	円	100 m3 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
積込 (ルーズ)	m3	113			SP 2号表
人力盛土・埋戻 締固め：振動コンパクタ (I) 土質：粘性土・礫質土	m3	100			第 2号表
計					
単価	m3				

金 円 10 m3 当り 人力盛土・埋戻 締固め：振動コンパクタ（Ⅰ） 土質：粘性土・礫質土 第 2号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員					1
	人				
普通作業員					
	人				
諸 雑 費					
	%				
計					
単価					
	m3				

1, #等:諸経費等対象額

8201H00A

T O 2 1 0					
土砂運搬工 浜名区四大地					
第 3号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
積込 (ルーズ)	m3	100			SP 4号表
土砂等運搬	m3	100			SP 5号表
計					
単価	m3				

T O 2 0 0					
盛土工 ハンドガイド式振動ローラ、締め幅1m以上					
第 4号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
積込 (ルーズ)	m3	113			SP 4号表
振動ローラ締め 築堤 ハンドガイド式 0.8-1.1t	m3	100			第 5号表
計					
単価	m3				

振動ローラ締固め 築堤 ハンドガイド式 0.8-1.1t					
第 5号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
振動ローラ 運転 ハンドガイド式、0.8-1.1t	日				
計					
単価	m3				

1, #等: 諸経費等対象額

8201H00A

T O O 4 O					
金 円 10 m 当り			側溝据付工 U-300A		
第 6号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
基面整正	m ²	6.2			SP 6号表
均しコン型枠	m ²	1			SP 7号表
均しコンクリート	m ³	0.31			SP 8号表
U-300A側溝据付 (製品長 0.6 m/個)	m	10			SP 9号表
計					
単価	m				

T O O 5 0					
側溝据付工 PU3-300A					
第 7号表					
金 円 10 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
基面整正	m 2	6. 2			SP 6号表
均しコン型枠	m 2	1			SP 7号表
均しコンクリート	m 3	0. 31			SP 8号表
排水構造物 U型側溝 据付け PU3-300A	m	10			第 8号表
計					
単価	m				

排水構造物 U型側溝 据付け PU3-300A						第 8号表
金 円 10 m 当り						
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
排水構造物工 (U型側溝) 昼間単価 時間的制約 無 L=2000mm 1000kg/個以下 機・労	m	10			標準単価 (基本額) [合計金額対象外]	
[補正係数: K5] 基礎碎石を施工しない場合	X					
補正後標準単価	m	10				
道路用鉄筋コンクリート側溝 300A 300×300×2m 3種	個	4.99				
計 (合計金額対象外は除く)						
単価	m					

1, #等: 諸経費等対象額
8201H00A

作業区分=据付け, L=2, 000mm以外を使用する場合=無し, 作業時間=昼間, U型側溝の種類=PU3-300A, 時間的制約=無し, 施工箇所における補正=無し, 基礎碎石施工の有無=無し

排水構造物 蓋版 据付け PC4-B300					
第 9号表					
金	円	1 枚 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
排水構造物工（蓋版） 昼間単価 時間的制約 無 コンクリート製・鋼製 40を超え170kg/枚以下 機・労	枚	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
補正後標準単価	枚	1			
道路用鉄筋コンクリート側溝蓋 300×500 3種	枚	1			
計（合計金額対象外は除く）					

1, #等: 諸経費等対象額

8201H00A

作業区分=据付け, 作業時間=昼間, 蓋版の種類=PC4-B300, 時間的制約=無し, 施工箇所における補正=無し

排水構造物 蓋版 据付け
銅製300用 T-25 L=500
第 10号表

金 円 1 枚 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
排水構造物工（蓋版） 昼間単価 時間的制約 無 鋼製 40kg/枚以下 機・労	枚	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
補正後標準単価	枚	1			
グレーチング JIS道路側溝用（かさ上げ） 300用 T-25 L=500	枚	1			
計（合計金額対象外は除く）					

1, #等:諸経費等対象額
8201H00A

作業区分=据付け, 作業時間=昼間, 蓋版の種類=銅製300用 T-25 L=500, 時間的制約=無し, 施工箇所における補正=無し

T O 2 8 0					
集水樹工 (天端上載荷重なし) CM-1 グレーチング蓋 110°					
第 11号表					
金 円 10 箇所 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
基面整正	m 2	12. 1			SP 6号表
均しコン型枠	m 2	2. 2			SP 7号表
均しコンクリート	m 3	0. 61			SP 8号表
型枠	m 2	50. 2			SP 10号表
コンクリート	m 3	5. 12			SP 11号表
銅製グレーチング樹蓋 110° T-2 500×500用	組	10			
排水構造物 蓋版 据付け 蓋版 (各種)	枚	10			第 12号表
計					

T O 2 8 0					
第 11号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
単価	箇所				

排水構造物 蓋版 据付け 蓋版 (各種)					
第 12号表					
金 円 1 枚 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
排水構造物工 (蓋版) 昼間単価 時間的制約 無 鋼製 40kg/枚以下 機・労	枚	1			1 標準単価 (基本額) [合計金額対象外]
補正後標準単価	枚	1			
蓋版	枚	1			
計 (合計金額対象外は除く)					

1, #等:諸経費等対象額
8201H00A

作業区分=据付け, 作業時間=昼間, 蓋版の種類=蓋版 (各種), 規格・仕様区分=40kg/枚以下, 時間的制約=無し, 施工箇所における補正=無し

T O 2 9 0 転落防止柵設置					
金 円 10 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
転落防止柵 塗装品 (グレーベージュ) 縦格子型 00建込用	m	10			
・横断・転落防止柵設置 コンクリート建込 支柱間隔3.0m ビーム式・パネル式	m	10			第 14号表
計					
単価	m				

・横断・転落防止柵設置 コンクリート建込 支柱間隔3.0m ビーム式・パネル式					
第 14号表					
金 円 1 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
横断・転落防止柵材料	m	1			
横断転落防止柵設置工（CO建込） ビーム式・パネル式、支柱間隔3.0m	m	1			1 市場単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔加算率：S〕 100m未満（コンクリート建込時）	%				
補正後市場単価	m	1			
計（合計金額対象外を除く）					

1, #等:諸経費等対象額
8201H00A

作業区分=コンクリート建込, 支柱間隔・規格・仕様=支柱間隔3.0m ビーム式・パネル式, 施工規模=100m未満 (コンクリート建込時), 時間制約を受ける場合の補正=無, 夜間作業の補正=無

T O O 7 0		土間コンクリート設置工 電気室前 W2455×D780×t120		第 15号表		
金	円	10 箇所 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
基面整正		m 2	19. 1			SP 6号表
型枠		m 2	4. 8			SP 12号表
鉄筋加工・組立 一般構造物 異形棒鋼 D13mm規格品SD345		t	0. 159			第 16号表
土間コンクリート		m 3	2. 3			SP 13号表
計						
単価		箇所				

鉄筋加工・組立
一般構造物 異形棒鋼 D13mm規格品SD345 第 16号表

金 円 1 t 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
鉄筋加工 異形棒鋼 D13mm規格品SD345		t	1		第 17号表
鉄筋組立 (一般構造物) 鉄筋径:10-13mm		t	1		第 18号表
計					

鉄筋加工
異形棒鋼 D13mm規格品SD345
第 17号表

金 円 1 t 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				1
鉄筋工	人				1
普通作業員	人				1
ラフテレーンクレーン オペレータ付き 油圧伸縮ジブ型25t吊	日				
異形棒鋼 SD345 D13	t	1.03			
諸雑費	%				
計					

1, #等:諸経費等対象額
8201H00A

鉄筋組立（一般構造物） 鉄筋径：10-13mm						第 18号表
金 円		1 t 当り				
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役	人				1	
鉄筋工	人				1	
普通作業員	人				1	
ラフテレーンクレーン オペレータ付き 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日					
諸雑費	%					
計						

1, #等: 諸経費等対象額

8201H00A

T O 3 2 0					
防草シート設置工 敷砂利5cm					
第 19号表					
金 円 100 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
砂利鋪装工（人力施工） 不陸整正作業：必要 敷均し厚5cm 再生クラッシャー RC-40（基礎材等）	m2	100			第 20号表
防草シート設置工 平面、覆土あり	m2	100			T0321 第 21号表
計					
単価	m2				

砂利舗装工（人力施工） 不陸整正作業：必要 敷均し厚5cm 再生クラッシャーラン RC-40（基礎材等）						第 20号表
金	円	100 m2 当り				
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額
普通作業員			人			
再生クラッシャーラン RC-40 再生基礎裏込材			m3	5.3		
計						
単価			m2			

1, #等:諸経費等対象額

8201H00A

施工区分=不陸整正・敷均し、 舗装材の種類=再生クラッシャーラン RC-40（基礎材等）、 敷砂利仕上り厚=5cm、 舗装面仕上げ=無し

T O 3 2 1					
防草シート設置工 平面、覆土あり					
第 21号表					
金 円 100 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
防草シート設置工 平面部、覆土、固定ピンのみ	m2	100			
防草シート 厚0.6mm程度	m2	104			
計					
単価	m2				

T O 3 3 0					
金 円 10 組 当り 門扉設置工 柵高1.8m 両開き 幅4.4m 溶融亜鉛めっき ダークブラウン 第 22号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
床掘り	m 3	23			SP 14号表
土砂運搬 (仮置き場へ)	m 3	23			SP 15号表
基面整正	m 2	7.2			SP 6号表
基礎碎石	m 2	7.2			SP 16号表
型枠	m 2	28			SP 10号表
ポイド (円形・紙製) φ100mm	m	10			
コンクリート	m 3	3.5			SP 17号表
土砂運搬 (仮置き場から)	m 3	18.8			T0360 第 23号表

T O 3 3 0					
第 22号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
埋戻し工 振動コンパクタ	m3	18.8			T0340 第 1号表
門扉 柵高1.8m 両開き 幅4.4m溶融亜鉛めっき ダークブラウン	組	10			
門扉設置費	組	10			T0370 第 24号表
計					
単価	組				

T O 3 6 0		土砂運搬 (仮置き場から)				第 23号表	
金 円		10 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
積込 (ルーズ)		m3	10			SP 2号表	
土砂等運搬		m3	10			SP 15号表	
計							
単価		m3					

T O 3 7 0

門扉設置費

第 24号表

金	円	10 組 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
計					
単価	組				

・防護柵設置工（ガードレール設置工）
土中建込 塗装品 Gr-C-4E ダークブラウン

第 25号表

金 円 1 m 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
・防護柵設置工（ガードレール設置工）（設置費） 土中建込 塗装品 Gr-C-4E	m	1			第 26号表
ガードレール 塗装品（景観色） Gr-C-4E 土中建込用	m	1			
計					

1, #等:諸経費等対象額

8201H00A

施工区分=土中建込, 規格・仕様=塗装品 Gr-C-4E, 施工規模による加算=50m以上100m未満 (A条件=1の時、選択可能), 時間的制約を受ける場合の補正=無, 夜間作業の補正=無, 曲線部補正=無, 景観配慮製品=ダークブラウン

・防護柵設置工（ガードレール設置工）（設置費） 土中建込 塗装品 Gr-C-4E					
第 26号表					
金 円 1 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ガードレール設置工（土中建込） Gr-C-4E（塗装品）	m	1			1 市場単価（基本額 [合計金額対象外]
〔加算率：S〕 施工規模：50m以上100m未満	%				
補正後市場単価	m	1			
小計					
材料費（白ガードレール単価）を控除 路側用 塗装品 Gr-C-4E	m	1			
計（合計金額対象外は除く）					

1, #等:諸経費等対象額
8201H00A

施工区分=土中建込, 規格・仕様=塗装品 Gr-C-4E, 施工規模による加算=50m以上100m未満 (A条件=1の時、選択可能), 時間的制約を受ける場合の補正=無, 夜間作業の補正=無, 曲線部補正=無

敷鉄板賃料 22*1524*6096 日数=73日					
第 27号表					
金	円	1 枚 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
敷鉄板賃料 22*1524*6096 日数=73日		枚・日			
諸雑費		式	1		
計					

敷鉄板賃料 22*1524*3048 日数=73日					
第 28号表					
金	円	1 枚 当り			
積 算 項 目			単位	数量	単 価
敷鉄板賃料 22*1524*3048 日数=73日			枚・日		
諸雑費			式	1	
計					

敷鉄板設置・撤去工 撤去					
第 29号表					
金 円 1000 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
バックホウ運転 クローラ型クレーン付 バケット容量0.8m3 2.9t吊 排出ガス対策型(第3次)	日				
計					
単価	m2				

1, #等:諸経費等対象額

8201H00A

MOOIO					
運搬費					
第 30号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
敷鉄板輸送費					
					コメント行
輸送費（仮設材） 製品長：12m以内 運搬距離：20kmまで 計上方法：片道計上		t	70.6		
					第 31号表
計					
単価					
		式			

輸送費（仮設材）
製品長：12m以内 運搬距離：20kmまで 計上方法：片道計上
第 31号表

金 円 1 t 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
仮設材輸送運賃料金 20km以下 製品長12m以内	t	1			1
積卸し費 計上する（敷鉄板 積込・取卸）	t	1			
計					

1, #等:諸経費等対象額
8201H00A

運搬距離=20kmまで、 製品長=12m以内、 計上方法=片道計上、 積卸し区分=計上する（敷鉄板 積込・取卸）、 冬季割増率：F1=なし、 深夜早朝割増率：F2=なし

M O O 2 O					
森林整備費					
第 32号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
植栽費・苗木代 3000本/ha		h a	0. 04		
防護柵（金網） スカートネットあり		m	80		
計					

工期算定一覧表

項 目	日 数	説 明
準備期間	30日	敷鉄板が設置済みで準備期間が短縮可能なため
作業所要日数	81日	
その他の不稼働日	0日	
後片付け期間	15日	
工期（合計）	126日	

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
床掘り	土質＝岩塊・玉石，施工方法＝平均施工幅 1 m 以上 2 m 未満，土留方式の種類＝無し，障害の有無＝有り	SP 1 号表
積込（ルーズ）	土質＝土砂（レキ質土），作業内容＝小規模（標準以外）	SP 2 号表
土砂等運搬	土砂等発生現場＝小規模，積込機種・規格＝バックホウ バケット容量 0. 2 8 m ³ ，土質＝土砂（岩塊・玉石混り土含む），D I D 区間の有無＝無し，運搬距離＝0. 2 k m 以下	SP 3 号表
積込（ルーズ）	土質＝土砂（軟岩），作業内容＝土量 5 0，0 0 0 m ³ 未満	SP 4 号表
土砂等運搬	土砂等発生現場＝標準，積込機種・規格＝バックホウ バケット容量 0. 8 m ³ ，土質＝軟岩，D I D 区間の有無＝無し，運搬距離＝6. 5 k m 以下	SP 5 号表
基面整正	基面整正＝基面整正	SP 6 号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝均しコンクリート	SP 7 号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生，現場内小運搬の有無＝有り & コンクリート規格＝1 8 - 8 - 2 5 （2 0）- B B	SP 8 号表
プレキャスト L 形側溝（製品長 0. 6 m/個）	作業区分＝据付，基礎碎石の有無＝無し，L 形側溝の種類＝L 形側溝 選択 & L 型側溝（各種）	SP 9 号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝小型構造物	SP 1 0 号表
コンクリート	構造物種別＝小型構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生，現場内	SP 1 1 号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
コンクリート	小運搬の有無＝有り &コンクリート規格＝18-8-25(20)-BB W/C 60%以下	SP 11号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝鉄筋・無筋構造物	SP 12号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生，現場内小運搬の有無＝有り &コンクリート規格＝18-8-25(20)-BB W/C 60%以下	SP 13号表
床掘り	土質＝土砂（レキ質土），施工方法＝上記以外（小規模）	SP 14号表
土砂等運搬	土砂等発生現場＝小規模，積込機種・規格＝バックホウ バケット容量0.13m ³ ，土質＝土砂（岩塊・玉石混り土含む），D ID区間の有無＝無し，運搬距離＝0.3km以下	SP 15号表
基礎碎石	碎石の厚さ＝7.5cmを超え12.5cm以下，碎石＝碎石の種類 選択 &碎石規格＝再生クラシャーラン（RC-40）	SP 16号表
コンクリート	構造物種別＝小型構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生，現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝18-8-40-BB W/C 60%以下	SP 17号表
不陸整正	補足材料の有無＝有り，補足材料平均厚さ＝46mm以上53mm未満，補足材料＝補足材 選択 &補足材料規格＝再生下層路盤材 40-0	SP 18号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝1.4m以上3.0m以下，材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（13） A配合，*1層当たり平均仕上り厚＝30mm，&瀝青材料規格＝プライムコート	SP 19号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
表層 (車道・路肩部)	P K - 3 , ▽アスファルト小型車割増 (必要時選択) = 小型車割増あり	SP 1 9 号表

表一 1 【農地】 当該建設工事に適用する仕様書一覧表

[illegible]

1. この工事に適用する仕様書は「適用」欄に○印の記載のあるものである。
2. 適用する仕様書の内容は静岡県HPから確認するとともに、必要に応じて施工計画書等に反映させるものとする。
(<https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kokyokoji/kensetsuict/1003499/1049093/1047792.html>)
3. 本表にないが当該工事に適用する仕様書は個々に編さんする。
4. 農林土木工事共通仕様書についても、本一覧で取扱うものとする。

積算基準の「見積参考資料」

- ・この「見積参考資料」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約約款第1条にいう設計図書ではありません。
- ・この「見積参考資料」の有効期限は、本建設工事の入札日までとします。

建設工事名： 令和8年度地域用水環境整備いなさ湖地区場内整備工1工事

建設工事箇所： 浜松市浜名区引佐町川名

本建設工事の工事価格の積算に使用した積算基準は以下のとおりです。

名称： 門扉設置費

規格：

摘要：

10 組 当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	摘 要
普通作業員	人	28	

施 工 条 件 明 示 事 項

令和 8 年度地域用水環境整備いなさ湖地区

場内整備工 1 工事

下記項目のうち適用項目○印該当欄は、当該工事に関する施工条件として明示するものである。
記載内容は、特記仕様書と同様の位置付けである。
なお、明示事項に変更が生じた場合は、監督員に報告し、協議するものとする。

		適用 項目	明示項目	明示が必要な場合	明示事項	内 容
		●	契約後VE	予定価格1千万円以上の工事の場合	契約後VE提案対象工事への該当	
A 工 程 関 係	1	●	関連工事との調整	関連工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合または、施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	影響を受ける工事内容	場内舗装工
					関連工事の内容	電気設備工事
					関連工事の施工時期(時間)	契約後、工程調整を行う
	2		関係機関等との協議	当該工事の関係機関等との協議における特質すべき事項 (関係機関、自治体等との協議の結果、特定の条件が付された等)	制約を受ける内容	
					協議内容	
					協議成立見込時期	
	3		土壌汚染、地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査 ※(参考)地下埋設物事故防止マニュアル	工事着手前に土壌汚染、地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合 地下埋設物等の移設が予定されている場合	調査項目	
					調査期間	
					移設期間	
B 用 地 関 係	1		工事用地等の未処理部分(借地等含む)	工事用地等に未処理部分がある場合 工事用地等の使用終了後の復旧 工事用仮設道路・資機材置き場等の用地を借地させる場合	時期	
					使用条件・復旧方法	
C 安 全 対 策 関 係	1		近接施工	鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事において施工方法等に制限がある場合	制限される施工方法	
	2		交通規制	交通規制を実施する場合	制限される作業時間帯	
D 工 事 用 道 路 関 係	1		搬入搬出経路の制限	搬入経路、使用時間、使用時間帯等に制限がある場合	制限される工事用資機材の搬入経路	
					制限される使用期間	
					制限される使用時間帯	
				搬入、搬出路の使用及び使用後の処置が必要である場合	使用中・使用後の処置内容	
E 建 設 副 産 物 関 係	1		建設発生土の搬出	建設発生土が発生する場合	処分場(受入先)の搬入条件	
	2		建設副産物の利用	現場内での再利用又は減量化が見込める場合	現場内利用の内容	
					減量化の内容	
F そ の 他	1					
	2					
	3					
	4		その他(自由記載)			
	5		その他(自由記載)			

令和8年度地域用水環境整備いなさ湖地区場内整備工1工事 特別仕様書

第1条（総則）

本仕様書は、「静岡県農林土木工事共通仕様書（以下『共通仕様書』という）」に定めるもののほか、本工事の施工に際し必要な事項を定めるものとする。本仕様書の内容と共通仕様書の内容に重複する記載があった場合には、本仕様書を優先とする。

第2条（工事内容）

1 目的

本工事は、都田川ダム下流に築造する「浜名湖北部用水いなさ湖発電所」の工事の一環として、発電所敷地内の場内整備工を行うものである。

2 工事個所

浜松市浜名区引佐町川名で別添位置図に示すとおりである。

3 工事概要

場内整備工 1箇所、詳細工事内容は工事積算書参照

第3条（現場条件）

1 第3者に対する措置

（1）関係機関との調整

施工にあたり各機関と連絡を密に取り、工事に支障のないよう十分注意すること。
近隣住民及び県道通行車への工事予告等は着手前に行うこと。

（2）第三者への損害

工事施工中、第三者に損害を及ぼした場合は速やかに監督員に連絡し、受注者の責務において処理すること。

第4条（工事用道路）

本工事で使用する管理用道路は、一般の通行を遮断して施工すること。施工中は受注者の責任において路面等維持管理を行うこと。また、県道浜北三ヶ日線の取付部については施工前及び施工後の写真を必ず撮影し、本工事で破損したことが明らかな場合は道路管理者及び監督員と協議の上、路面補修等必要な措置を行うこと。

第5条（工事用地）

- 1 工事施工に必要となる用地は、受注者の責務において確保し、返還時には関係者の確認を得ること。
- 2 工事に先立ち、用地境界を確認し明確にしておくとともに、隣接する土地との間に問題が生じないように十分留意すること。

第6条（工事用材料）

- 1 材料検査は、「静岡県建設工事請負契約約款第13条第2項」及び「静岡県建設工事検査要領」の規定によるものとする。
- 2 使用材料については、材料承認願を監督員へ提出し、監督員が承諾したもののみを使用すること。

第7条（工事施工）

1 一般事項

（1）施工計画書

施工計画書は、「共仕第1章第1-1-6条」の規定により、契約後速やかに監督員へ提出すること。また、施工計画書の内容に変更が生じた場合は、変更契約の有無に関わらず施工計画書を提出すること。なお、地震情報（調査情報、注意情報、予知情報）が出された場合の措置を記載すること。

（2）施工時期

契約後速やかに関係市町、地元関係者等に施工時期を提示し、地域社会生活に支障をきたさないよう調整を行うこと。求められた場合は関係自治会への工事説明を行うこと。

（3）設計図書との不整合

契約後速やかに現場踏査のうえ設計照査を行い、設計図書と現地が不整合の場合は監督員と協議すること。特に地下埋設物、架空線については、現地調査等により十分な調査を行うこと。

（4）審査・立会・段階確認

請負者は、「農林土木工事共通仕様書」にもとづき、審査・立会・段階確認を受けること。なお、施工計画書に段階確認の予定を記載し、「段階確認・立会願」を監督員に提出すること。

（5）現場安全及び交通安全管理

- 1）荒天時の施工は特別の理由がない限り原則として行わないこと。
- 2）工事期間中は工事表示板を設置し、必要と判断された場合は交通誘導員を配置すること（交通誘導員については、出役表を作成し配置状況の写真を撮影すること）。
- 3）搬入土、盛土材、その他の材料を道路上に放置しないこと。また運搬中の落下にも十分注意すること。
- 4）各種協議に必要な施工計画書（使用機種規格、配置、施工期間及び範囲等の明示が必要な書類）については受注者が作成すること。

2 場内整備工

施工箇所が重複する関連工事が4工事施工中であるため、施工及び工程の調整を行い工事を進めること。

3 森林整備工

浜松市浜名区引佐町1-366番地において、ひのきの苗木にて植林を行う。また植林を行った外周に防護柵を設置する。

第8条 施工管理

施工計画書に各工種の施工管理基準を明記すること。ただし『農林土木工事施工管理基準』以外を適用する場合や、管理基準が不明確な場合は施工計画書提出前に監督員と協議を行うこと。

第9条 変更等

1 契約変更を行う主な事項は以下のとおりである。

- （1）土質の著しい変化
- （2）地下水状況

(3) 地下埋設物の出現

(4) その他必要と判断できる事項

第10条 中間検査

この工事は、中間検査の対象工事でありその実施については、中間検査実施基準による。

第11条 (その他) 定めなき事項

本仕様書に定めなき事項又は本工事の施工にあたり疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

工事事故対策特記仕様書

第1条（当該工事現場で予想される事故対策）

受注者は、「予想される事故対策リスト（様式1）」（以下、「リスト」）を作成し、施工計画書に添付するとともに、予想される事故の発生危険位置を示した「工事事故ハザードマップ」（以下「マップ」）を作成し、作業開始時までに現場に掲示すること。

第2条（リストの内容）

リストに記載する事故の種別は、「挟まれ・巻き込まれ」「墜落・転落」「地下埋設物」「架空線」「第三者立入」「交通事故」「クレーン等の転倒」「斜面崩壊、落石」「伐採」に係る事故とし、リスト作成に当たっては、現場状況等を事前に確認し、現場条件、工事内容に即した安全対策の具体的な実施内容を明記すること。

第3条（リスト及びマップの更新）

- 1 受発注者は、現場着手前にリスト及びマップを合同で検証する。
- 2 受注者は、着手後も予想される事故の把握に努め、その結果に応じてリスト及びマップを随時更新するとともに、リストを監督員に提出し、マップを現場に掲示すること。

第4条（支障物対策チェックシートの作成）

受注者は、「支障物対策チェックシート（様式2）」による確認調査を行い、施工計画書に添付して提出すること。また、工事完成時に実施結果を監督員に提出すること。

第5条（その他）

その他、疑義が生じた場合は、監督員に確認すること。

工事名：	
受注者名：	

予想される事故対策リスト（着手前）

該当の有無 マップ 位置 番号	【事故の種別】 予想される事故	左記の安全対策	対策における留意点	確認 日 (前)	合同検証 改善事項
有	【挟まれ・巻き込まれ】	【挟まれ・巻き込まれ】	【挟まれ・巻き込まれ】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【挟まれ・巻き込まれ】
有	【墜落・転落】	【墜落・転落】	【墜落・転落】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【墜落・転落】
無	【地下埋設物】	【地下埋設物】	【地下埋設物】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【地下埋設物】
無	【架空線】	【架空線】	【架空線】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【架空線】
無	【第三者立入】	【第三者立入】	【第三者立入】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【第三者立入】
有	【交通事故】	【交通事故】	【交通事故】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【交通事故】
有	【クレーン等の転倒】	【クレーン等の転倒】	【クレーン等の転倒】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【クレーン等の転倒】
	【斜面崩壊、落石】	【斜面崩壊、落石】	【斜面崩壊、落石】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【斜面崩壊、落石】
	【伐採】	【伐採】	【伐採】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【伐採】
	【その他】	【その他】	【その他】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【その他】

様式 1

工事名：	
受注者名：	

予想される事故対策リスト（中間時）

該当の有無 マップ 位置 番号	【事故の種別】 予想される事故	左記の安全対策	対策における留意点	確認 日 (中間)	合同検証 改善事項
	【挟まれ・巻き込まれ】	【挟まれ・巻き込まれ】	【挟まれ・巻き込まれ】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【挟まれ・巻き込まれ】
	【墜落・転落】	【墜落・転落】	【墜落・転落】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【墜落・転落】
	【地下埋設物】	【地下埋設物】	【地下埋設物】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【地下埋設物】
	【架空線】	【架空線】	【架空線】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【架空線】
	【第三者立入】	【第三者立入】	【第三者立入】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【第三者立入】
	【交通事故】	【交通事故】	【交通事故】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【交通事故】
	【クレーン等の転倒】	【クレーン等の転倒】	【クレーン等の転倒】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【クレーン等の転倒】
	【斜面崩壊、落石】	【斜面崩壊、落石】	【斜面崩壊、落石】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【斜面崩壊、落石】
	【伐採】	【伐採】	【伐採】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【伐採】
	【その他】	【その他】	【その他】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【その他】

様式 1 （記載例）

工事名：	
受注者名：	

予想される事故対策リスト（着手前）

該当の有無 マップ 位置 番号	【事故の種別】 予想される事故	左記の安全対策	対策における留意点	確認 日 (前)	合同検証 改善事項
有 全区域	【挟まれ・巻き込まれ】 ・移動中の機械との接触による身体の転倒や挟まれ事故 ・	【挟まれ・巻き込まれ】 ・作業計画書の作成 ・稼働させる機械の周囲への立入禁止措置 ・監視人の配置 ・機械移動範囲の地盤等安定保持	【挟まれ・巻き込まれ】 ・機械と接触するときには、機械が作動しない状態であることの確認を徹底する。	8／10 総 ☒ 主 ☐ 担 ☒ 他 ☐ ()	【挟まれ・巻き込まれ】 ・オペレータと監視人の合図を徹底する。
有 1	【墜落・転落】 ・足場組立作業中の転落事故	【墜落・転落】 ・先行手摺の設置 ・安全帯の固定 ・手摺、筋交い、作業床の適切な設置 ・梯子は固定されているか	【墜落・転落】 ・作業がない時は、足場への入口を塞ぐなどの予防対策も有効 ・気象条件等に注意（凍結、雨天時）	11／11 総 ☐ 主 ☒ 担 ☒ 他 ☐ ()	【墜落・転落】 特になし
有 2	【地下埋設物】 ・ドリルやリッパ等による埋設管（線）の破断事故	【地下埋設物】 ・作業計画書の作成 ・管、線の管理者、及び利用者に現地立会を求め、埋設位置を予め確認 ・確認が十分にできない場合には、監督員と協議の上、人力掘削による試掘を行う。	【地下埋設物】 ・個人所有の引込管等は存在が不明の場合もあることに留意する。	8／10 総 ☒ 主 ☐ 担 ☒ 他 ☐ ()	【地下埋設物】 ・埋設位置の現場明示を行う。
有 3	【架空線】 ・重機のブーム等による架空線の切断事故 ・ケーブルクレーンの事故	【架空線】 ・防護カバーの設置 ・高さ制限装置の設置 ・注意看板の設置 ・立入禁止区域の指定 ・選任監視人の配置 ・ワイヤロープの点検 ・つり荷の落下防止 ・クレーンと人との分離措置	【架空線】 ・施設管理者に施工方法等の確認、立会を求める。 ・関係作業員への施設情報等の周知徹底。 ・気象条件に注意（強風）	11／11 総 ☐ 主 ☒ 担 ☒ 他 ☐ ()	【架空線】 ・移動時には確実にブーム、アームを格納する。
有 全区域	【第三者立入】 ・第三者の誤進入による接触、転倒事故。	【第三者立入】 ・進入防止柵等による立入禁止範囲と通行可能範囲の明示。	【第三者立入】 ・施工段階に応じて範囲の設定を変更し、隙間の発生を防ぐ。	8／10 総 ☒ 主 ☐ 担 ☒ 他 ☐ ()	【第三者立入】 特になし
有 4 5 6 7	【交通事故】 ・ダンプトラックと歩行者・自転車との接触事故	【交通事故】 ・交通事故のハザードマップを作成・配布し、運行時の危険個所を周知	【交通事故】 ・運行経路、時間帯にも配慮する。	11／11 総 ☐ 主 ☒ 担 ☒ 他 ☐ ()	【交通事故】 ・通学路を追加する。
有 8	【クレーン等の転倒】 ・アウトリガー据え付け箇所不等沈下等によるクレーン等の転倒事故	【クレーン等の転倒】 ・作業計画書の作成 ・軟弱地盤の把握 ・敷鉄板の設置 ・改良、入替等による支持力の確保	【クレーン等の転倒】 ・荷重作用の直前、直後、中間時における敷鉄板の沈下等の確認を行う。	8／10 総 ☒ 主 ☐ 担 ☒ 他 ☐ ()	【クレーン等の転倒】 特になし
有 9 10	【斜面崩壊、落石】 ・切土法面表層部の崩落による生き埋め事故。 ・切土法面の落石による事故。	【斜面崩壊、落石】 ・安全監視員の配置 ・浮石等の除去と法面点検の徹底 ・施工区域外の点検	【斜面崩壊、落石】 ・待避所の確保と危険個所については落石防止柵等の設置。	11／11 総 ☐ 主 ☒ 担 ☒ 他 ☐ ()	【斜面崩壊、落石】 ・落石防護ネットを設置する。
有 11	【伐採】 ・伐倒時の跳ね返りによる事故。 ・枝葉を踏んでの滑り転倒事故。	【伐採】 ・作業計画書の作成 ・保護具は適当か ・立ち入り禁止区域、待避所の確保 ・適切なかかり木処理	【伐採】 ・「チェンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」遵守。	8／10 総 ☒ 主 ☐ 担 ☒ 他 ☐ ()	【伐採】 ・伐採材の日々の片づけ。
無	【その他】 該当なし	【その他】	【その他】	／ 総 ☐ 主 ☐ 担 ☐ 他 ☐ ()	【その他】

対策項目	内 容	Check	
		対象	実施
[対象施設]	上空施設なし 「架空線対策の必要なし」		
	掘削、地中削孔、地中打ち込み作業なし 「地下埋設物対策の必要なし」		
[架空線対策]	電柱、電線、電話線、ケーブルテレビ等の上空施設		
① 事前調査	架空線の位置、高さ、方向を現場にて確認。 架空線の種類及び管理者等の調査。		
② 危険予知マップ (ハザードマップ)	支障物の位置と重機の作業範囲を設計図に書き込み、接触等 を注意する箇所をマークした危険予知マップを作成。		
[地下埋設物対策]	上下水道、電話線、電力線、ガス管、農業用水管等の地下施設		
① 事前調査	ア) 複数の埋設物の存在、交差等の発生等、不明確な箇所等から 設計業務の時点で「地中レーダー探査」による埋設管調査実施 の有無。 <委託調査 済 ・ 未>		
	イ) 上下水道、N T T、中部電力、中部ガス等の管理者へ地下埋 設物の確認。支障物がある場合は管理図等を入手。 <委託調査 済 ・ 未>		
② 聞き取り調査	ア) 幹線以外の地下埋設物等について、自治会長、水利組合長や 隣接家屋の住民等への聞き取り調査。 イ) 対象の地下埋設物を施工した当時の業者等への聞き取り調査		
③ 試掘調査	ア) 管理図と計画図面と整合が取れない、イ) 複数の埋設物が存在 する、リ) パイプラインの位置が変化する箇所、エ) 道路の屈曲箇 所等を重点に試掘調査し、埋設管の位置を把握。 なお、試掘調査箇所は監督員と協議して決定。		
④ 危険予知マップ (ハザードマップ)	計画平面図へ注意する地下埋設物の位置をマークした危険予知 マップを作成。		
[現場対策]			
① 施工計画書	障害物に関する工事事務所事故防止対策として、施工計画書の「安全 管理」の項目にこのチェックシートを添付する。		
② 情報の掲示	作成した危険予知マップは現場事務所及び作業現場等の作業員 目のつくところに掲示する。		
③ 支障物の確認	毎日のK Y活動及び新規入場者教育において、重機オペレータ の他、現場作業員に対して、危険予知マップを基に、架空線・ 地下埋設物の意識の徹底を図る。		
④-1 現地対応 (架 空 線)	支障架空線に注意喚起のカバー又はリボンを設置		
	注意喚起のノボリを設置		
	架空線近くの作業時は、別途、監視員を配置		
④-2 現地対応 (地下埋設物)	地上部(道路上)に地下埋設物箇所をマーカー等で明示		
	地下水等を排除し、埋設物が確認できる状態にて掘削		
	支障物付近の掘削は、人力掘削		

※施工計画書提出時に、対象欄に(レ点)を入れて提出し、工事完成時に、実績欄に(レ点)を入れて提出する。

令和8年度地域用水環境整備いなさ湖地区
場内整備工1工事
図面一覧表

[illegible]

場内整備工計画計画図 1/2

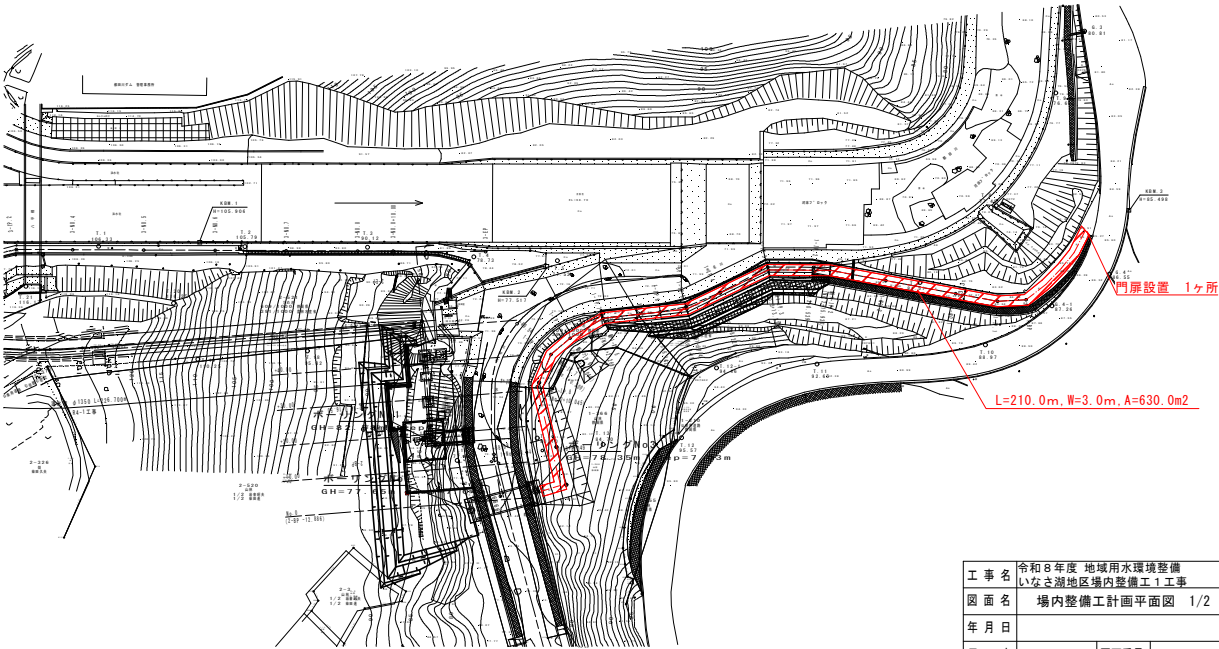
場内整備工計画平面図

S=1:500



進入路計画平面図

S=1:750



工事名	令和8年度 地域用水環境整備 いなき湖地区場内整備工1工事		
図面名	場内整備工計画平面図 1/2		
年月日			
尺度	図示	図面番号	11
会社名			
事業所名	静岡県 西部農林事務所		

S=1:100

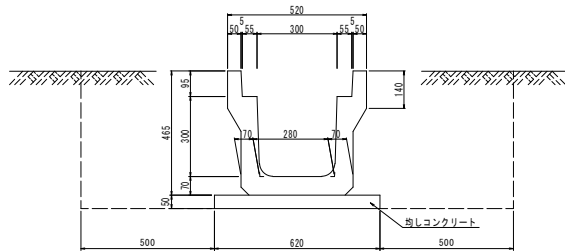
A

B

工事名	令和8年度地域用水環境整備 いなさ湖地区域内整備工1工事		
図面名	場内整備工計画平面図 2/2		
年月日			
尺度	1:100	図面番号	2
会社名			
事業所名	静岡県 西部農林事務所		

各種構造図

PU3-300A
(U-300A) S=1:10 (1:20)

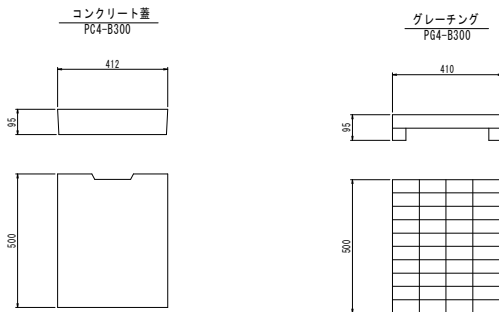


PU3-300A (U-300A)		10m当り	
名 称	規 格	算 式	単 位 数 量
掘 削		$(0.5+0.62+0.5) \times 0.515 \times 10$	m ³ 8.34
床均し		0.62×10	m ² 6.2
側 溝	3種PU側溝L=2.0m/本 参考重量419kg/本	10.0/2.0	本 5.0
均しコンクリート	普通18-8-25B8	$0.62 \times 0.05 \times 10.0$	m ³ 0.31
型 枠	均しコン型枠	$0.05 \times 2 \times 10.0$	m ² 1.0
埋戻し		$8.34+0.24 \times 10$	m ³ 5.94
残土処分		$8.34+5.94 \times 0.87$	m ³ 3.17

注) 1 既製品に係る寸法数値は参考とする。
注) 2 基礎工は現場状況により、監督員と協議すること。
注) 3 掘削の掘削は、モルタル(1:2配合)を使用する。

側溝蓋板工

S=1:10 (1:20)

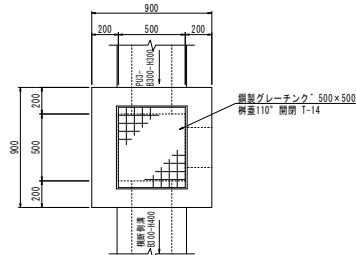


蓋版工 PC4-B300		10m当り	
名 称	規 格	算 式	単 位 数 量
PC4-B300	Cu製 PU2型用B300	参考重量 45kg/枚	枚 20.0

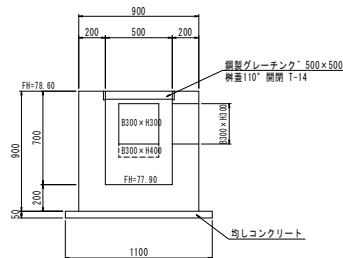
蓋版工 PG4-B300		10m当り	
名 称	規 格	算 式	単 位 数 量
PG4-B300	鋼製 PU2型用B300	参考重量 18kg/枚	枚 20.0

集水樹工(1)
CM-1 T14 S=1:20 (1:40)

平面図



断面図

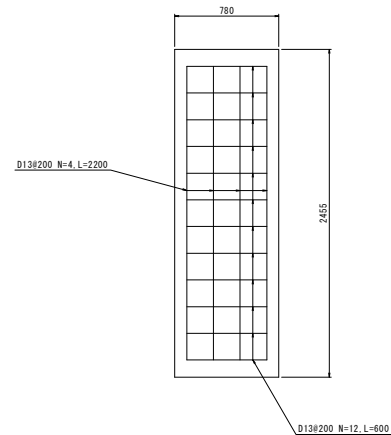


集水樹工(1) (CM1 T-14)		10箇所当り	
名 称	規 格	算 式	単 位 数 量
掘 削		$(0.5+1.10+0.5) \times 2 \times 0.95 \times 10$	m ³ 41.9
床均し		$1.10 \times 1.10 \times 10$	m ² 12.1
コンクリート	普通18-8-25B8	$(0.90 \times 0.90 \times 0.90+0.50 \times 0.50 \times 0.70+0.30 \times 0.30 \times 0.20 \times 2+0.30 \times 0.40 \times 0.20) \times 10.0$	m ³ 5.12
型 枠	小型構造物	$[(0.90+0.50) \times 4 \times 0.90+0.30 \times 0.30 \times 2 \times 2+0.30 \times 0.40 \times 2+0.30 \times 0.20 \times 3 \times 2+(0.30+0.40 \times 2) \times 0.20] \times 10.0$	m ² 50.2
鋼製グレーチング	500×500 110度開閉T-14	参考重量30kg/枚	枚 10.0
均しコンクリート	普通18-8-25B8	$1.10 \times 1.10 \times 0.05 \times 10.0$	m ³ 0.61
型 枠	均しコン型枠	$1.10 \times 4 \times 0.05 \times 10.0$	m ² 2.2
埋戻し		$41.9+(0.9 \times 0.9 \times 0.9+1.1 \times 1.1 \times 0.05) \times 10$	m ³ 34.0
残土処分		$41.9+34.0 \times 0.87$	m ³ 12.3

土間コンクリート工

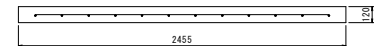
平面図

S=1:20



正面図

S=1:20



土間コンクリート		10箇所当り	
名 称	規 格	算 式	単 位 数 量
床均し		$0.78 \times 2.455 \times 10$	m ² 19.1
型 枠	鉄筋・無筋	$(0.78 \times 2+2.455) \times 0.12 \times 10$	m ² 4.8
鉄 筋	D13 SD345	$(2.2 \times 4+0.6 \times 12) \times 0.995 \times 10$	kg 159.2
コンクリート	普通18-8-25B8	$0.78 \times 2.455 \times 0.12 \times 10$	m ³ 2.3

令和8年度地域水環境整備
いなさ湖地区場内整備工1工事

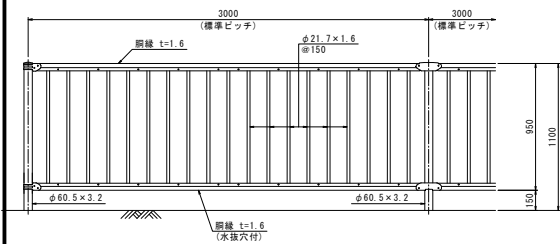
図 面 の 名 称		図面番号
各種構造図		3
縮 尺	図 示	
測 量	平成 年 月 日終了	
設 計		
製 原 図		
図 標 写		
静岡県西部農林事務所		

安全施設工構造図（参考）

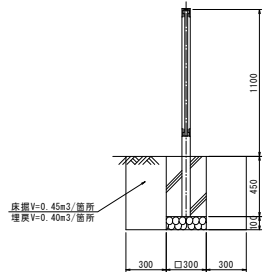
A1 : S=1/20
A3 : S=1/40

転落防止柵構造図

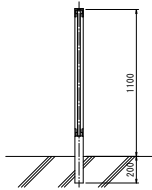
H=1100 S=1/20



基礎ブロック用 (C)

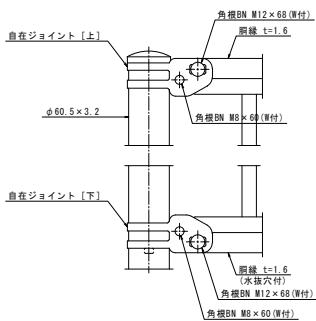


コンクリート建込用 (W)



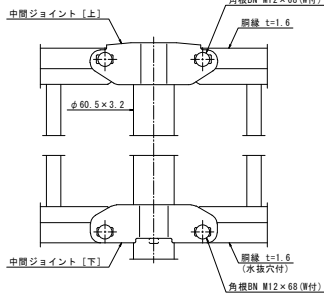
端部部取付図

S=1/4



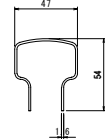
中間部取付図

S=1/4



鋼線断面図

S=1/2



設計条件
設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のP種に基づく。

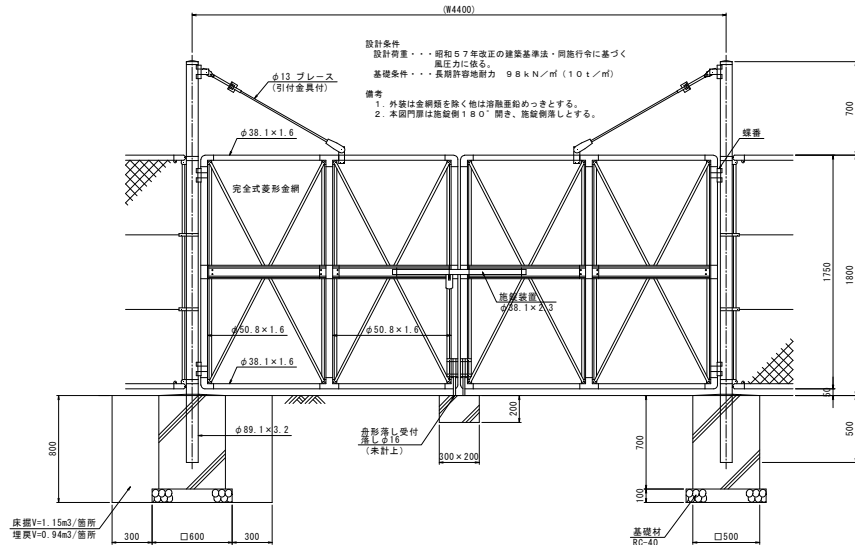
備考
1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみとする。

転落防止柵 (H=1100 基礎ブロック用) 数量表						10m当り
名 称	規 格	算 式	単位	数 量	摘 要	
床据	小規模	0.45×10.00/3.00	m ³	1.50		
埋戻	W<1.0m	0.40×10.00/3.00	m ³	1.33		
転落防止柵	H=1800	10.00	m	10.00		

転落防止柵 (H=1100 コンクリート建込用) 数量表						10m当り
名 称	規 格	算 式	単位	数 量	摘 要	
転落防止柵	H=1800	10.00	m	10.00		

門扉構造図

W=4400 S=1/20
H=1800



設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)
備考
1. 外装は亜鉛めっき溶融亜鉛めっきとする。
2. 本図門扉は施設側180°開き、施設側開きとする。

門扉設置工						10m当り
名 称	規 格	算 式	単位	数 量	摘 要	
床据	小規模	1.15×2×10	m ³	23.0		
床均し		0.60×0.60×2×10	m ²	7.2		
基礎砕石	RC-40 t=100	0.60×0.60×2×10	m ²	7.2		
型枠		0.50×0.70×4×2×10	m ²	28.0		
ポイド	φ110mm	0.50×2×10	m	10.0		
コンクリート	18-8-40-BB	0.50×0.50×0.70×2×10	m ³	3.5		
埋戻し		0.94×2×10	m ³	18.8		
門扉	W=4400		組	10		

令和6年度地域河川水環境整備 いなほ湖地区域内整備工1工事		
図 面 の 名 称		図面番号
安全施設工構造図（参考）		4
縮尺 A1：S=1/20 A3：S=1/40		
測 量	令和 年 月 日終了	
設 計		
製 原 図		
	図 様 写	
静岡県西部農林事務所		